

Move Mountains

5年生通信



2月12日91号

○教科の学習が世界の見方を広げていく

先日、香川県の小学校に及びいただき、授業を参観してまいりました。

帰ろうと高松駅に行くと…。「強風のため運転を見合わせております」

四国に取り残されてしまいました。へとへとだったので、帰りたかったのですが…。

高松駅も強風で、体感温度が下がる中、いよいよ雪まで降ってきてきました。今から泊まる場所を見つけなければなりません。

写真を見せながら、そんなエピソードを話していると「情景描写だ！」と言った子がいます。私はとても感動しました。



「情景描写」というのは、直接書いてない（表現してない）けれど、登場人物の心情を表現していると考えられる描写です。

- ・ 悲しい場面で雨が降ってくる
- ・ オチのところでカラスが鳴いている
- ・ 仲直りして、虹がかかる

そういった表現です。

先日まで、国語で扱っていた「大造じいさんとガン」も情景描写の宝庫です。情景描写を読み取ることができるようになると、ドラマやアニメ、映画を見ている楽しさが広がります。

疲れて帰れず泊まる場所も決まっていな...。そんな心情と吹雪いてきたことをリンクして考えられる子が出てきたのです。こうして、教科で学んだことが実生活に繋がり、世界を広げていくのです。

授業としては、「大造じいさんとガン」の続きの物語を構想する活動を行いました。学習したことを活用して、その中にも情景描写が出てきます。

- ・そして雪がふった。大造じいさんはよろこんだけれど、目にはなみだがありました。
- ・大造じいさんの方にとんできた銃の弾に当たりにいった。赤く燃える火と、真っ赤に染まった残雪の姿がありました。
- ・残雪は飛び出し、空は雲一つなく、美しい夕焼けが見えました。

5年生で、ここまで表現の工夫を凝らした文章が出てくるのは初めてです。感心します。

世界の見方について、いつもこのイラストを思い出します。



世界を広げられる人は、リンゴ一つでも受け取ることができる情報量が大きく変わります。世界を広げられるような学習を積み重ねていきましょう。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

